

栄養部

a. 体制

栄養部は、栄養部部長（糖尿病内分泌内科副部長兼任）のもと管理栄養士 16 名と、調理師・調理員 7 名（委託給食会社へ出向）の合計 23 名（2024. 3. 31 現在）で構成されています。

〈栄養管理〉

入院患者の栄養管理の充実を目指し、「顔の見える管理栄養士」として病棟担当制で患者の病態を把握した管理栄養士がベッドサイドで栄養状態の評価を行っています。2022 年 12 月より SCU から開始した重症患者への早期栄養介入については 2023 年 6 月より専任の管理栄養士を配置し ICU へも拡大しました。

入退院サポートステーションでは多職種連携のもと入院前より患者の栄養評価を管理栄養士が行っています。栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、口腔ケア・嚥下リハビリチーム、がんリハビリチーム、緩和ケアチームのチーム医療に参画しています。個人栄養指導は予約制で行っています。コロナ禍により中止していましたが糖尿病の集団栄養指導は、10 月より再開しています。

〈給食管理〉

給食部門は一部委託しています。委託会社が給食に関する一連の業務を行います。患者様に寄り添ったお食事の提供を目指し、心を込めたメッセージカードを添えた行事食を行っており 2023 年度は 19 回実施しました。産後のお祝い膳、調乳ミルクの提供も行っています。厨房施設の老朽化についてワーキンググループが発足され検討を重ねた結果、2024 年度に改修工事が決定されました。

〈管理栄養士の認定資格等取得状況〉（2024. 3. 31 現在）

※がん病態栄養専門管理栄養士（日本病態栄養学会）

山田信子、京面ももこ、高山祐美、松元知子、巽絢子

※栄養サポートチーム専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）

山田信子、巽絢子、栗林真理

※栄養経営士（一般社団法人 日本栄養経営実践協会）

京面ももこ、牧山由美

※静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士（日本栄養士会）

京面ももこ、名倉成美、高山祐美、栗林真理、中川佳恵

※日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）

山田信子、京面ももこ、高山祐美、巽絢子、石田梨奈

※病態栄養認定管理栄養士（日本病態栄養学会）

山田信子、京面ももこ、高山祐美、松元知子、巽絢子、栗林真理、名倉成美

※臨床栄養師（日本健康・栄養システム学会）

牧山由美

※サルコペニア・フレイル指導士（サルコペニア・フレイル学会）

牧山由美

※腎臓病療養指導士（日本腎臓病協会）

名倉成美、高山祐美

※心不全療養指導士（日本循環器学会）

牧山由美

※栄養治療専門療法士　がん専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）

巽　絢子

※肝疾患病態栄養専門管理栄養士（日本病態栄養学会）

名倉　成美

b. 実績

1、診療実績

（件）

2023年度		単位	2022年度	2023年度	前年比
入院時食事療養費(Ⅰ)		食	406,804	459,830	53026
内 訳	入院時食事療養Ⅰ(1)	食	395,193	445,996	50803
	入院時食事療養Ⅰ(2)	食	11,611	13,834	2223
	食堂加算	人	151,135	174,492	23357
	特別食加算(再掲)	食	168,057	186,969	18912
	特別食加算加算率	%	41.3%	40.7%	(0.6)
栄養食事指導					
個人栄養食事指導		件	3501	4718	1217
内 訳	入院栄養食事指導(初回)	件	1506	2242	736
	入院栄養食事指導(2回目以降)	件	305	648	343
	外来栄養食事指導(初回)	件	598	609	11
	外来栄養食事指導(2回目以降)	件	1092	1219	127
集団栄養食事指導		件	92	135	43
糖尿病透析予防指導管理		件	68	84	16
栄養サポートチーム加算		件	250	399	149
緩和ケア 個別栄養食事管理加算		件	2111	3120	1009
早期栄養介入管理加算		件	1133	2184	1051

2、集団教室

2023 年度下期より糖尿病教室再開

毎月第 2 金曜日 14:00-14:30

12/8「糖尿病の食事療法の基本と年末年始の食事の工夫」 担当：米田(講師)、松元、中川

3、企画参加

〈院外活動〉

◆糖尿病療養指導ガイドブック 編集委員 京面ももこ

◆2023 年 12 月 7 日 DiaMond Seminar ～食事療法について考える会～ オンライン配信のみ
共催：住友ファーマ株式会社

「丈夫な骨は毎日の食事から～たっぷりカルシウムとビタミン D の食事の工夫～」 講師：松元知子

◆2023 年 10 月 18 日 AML Expert Meeting

共催：第一三共株式会社

「血液腫瘍患者の治療を栄養管理で支える ～食の QOL を高める試み～」 講師：高山祐美

〈院内活動〉

◆2023 年 11 月 13 日～11 月 17 日 世界糖尿病デー企画

担当：米田、松元、中川

- ・アニメーション配信（スライド）
- ・糖尿病の食事療法について

◆2024 年 2 月 5 日 第 4 回褥瘡ケア研修会

担当：高山

「あなたはわかる？褥瘡クイズ～栄養編～」

〈患者会〉

◆パンジーの会（2023 年 10 月 27 日）

3 年ぶりに対面での開催となりました。

内容：医師の講演とリハビリテーション科による筋力チェック

4、2023 年度 行事食（全てにメッセージカードが付きます）

- ・4/1（花見）：豆ごはん、鮭の焼き漬け、若竹汁、菜の花のお浸し
- ・5/5（こどもの日）：小児食、産褥食へ真鯉のデザートを提供
- ・5/14（母の日）：アップルパイを提供
- ・6/18（父の日）：クリームブッセを提供
- ・7/7（七夕）：七夕 3 食ゼリーを提供
- ・7/23（土用丑の日）：柳川風、あおさ汁、小松菜の辛し和え
- ・8/5（花火大会）：ソーダゼリーを提供

- ・9/18（敬老の日）：肉豆腐、焼なすの焼浸し、すだち和え、水ようかん
- ・10/31（ハロウィン）：ハロウィンプリンを提供
- ・11/23（紅葉）：栗ムースを提供
- ・12/22（冬至）：鱈のフライ、南瓜の盛り合わせ、オクラのおかか和え
- ・12/24（クリスマス）：ビーフシチュー、くずとじ煮、クリスマスサラダ、クリスマスプリン
- ・12/31（大晦日）：年越しそば、利休焼き、焼なすの和え物
- ・1/1-1-3（正月）：雑煮、祝肴、赤飯など
- ・1/7（七草）：七草入りかき玉汁
- ・2/3（節分）：巻寿司、いわしの煮付け、きのこ汁、白菜ゆず和え、福豆
- ・3/3（雛祭り）：炊合せ、牛肉と野菜の炒め煮、菜の花からし和え、ひなあられ

c、研究実績

〈研究会発表〉

該当なし

〈講演発表〉

該当なし

〈学会発表〉

シンポジウム

◆2023 年 5 月 9 日-5 月 10 日 第 38 回日本臨床栄養代謝学会 神戸 シンポジウム

脾臓手術における術式毎の栄養摂取と体組成・握力変化に関する術後 1 年間の経過検討

巽 絢子、京面 ももこ、井口公太

◆2023 年 5 月 9 日-5 月 10 日 第 38 回日本臨床栄養代謝学会 神戸 シンポジウム

脾切除患者の術後食事摂取量と血液学的栄養指標の変動から考える術式毎の栄養指導の在り方

京面 ももこ、巽 絢子、井口公太

ポスター発表

◆2023 年 7 月 22-23 日 第 10 回日本糖尿病協会年次学術集会 京都 ポスター発表

当院における世界糖尿病デーの取り組み ～藤原道長と糖尿病サポートチームの夢の共演～

増田有美、仲尾美音、京面ももこ、松元知子、新居茜、古河てまり、茅野知賀、豊田久理子、竹内麻衣、浦慎太朗、角田晃啓、上田覚、森田恵未、岡田理香、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋、稲垣暢也

◆2024 年 3 月 1-2 日第 11 回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会, 東京 ポスター発表

人間ドックにおける骨粗鬆症に対する意識調査～年代別の検討結果～

毎熊由美子、松元知子、本庶祥子

◆2024 年 1 月 26 日-1 月 28 日 第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会 京都 ポスター発表

骨粗鬆症に対する人間ドックでの管理栄養士の取組み～丈夫な骨は毎日コツコツ「骨コツ御膳」～

松元知子、毎熊由美子、本庶祥子、高森行宏

◆2024 年 1 月 26 日-1 月 28 日 第 27 回日本病態栄養学会年次学術集会 京都 ポスター発表

口腔内への薬剤残存が判明し経管栄養開始により経口摂取を再開できたパーキンソン病の一例

名倉成美、田中英治、大洞佳代子、上ノ山和弥、石田梨奈、長谷部雅士、佐藤正人、上田優貴子、宮森理英子、北出順子、松本忍、猪崎愛、辻本実奈美、児玉晃子、柿添忍、垣内真子、南奈月、本庶祥子

〈執筆活動〉

◆糖尿病療養指導ガイドブック 2024（担当箇所非公開） 京面ももこ

◆非結核性抗酸菌症（肺 NTM 症）の栄養障害

栄養ニュース PEN 479: 10-11（2023 年 10 月 1 日号） 高山祐美

〈論文発表〉

原著

◆脾切除後 1 年間の糖脂質代謝・栄養学的指標の推移～脾切除後 NAFLD 発症メカニズムの検討

井口公太、巽絢子、京面ももこ、仲野健三、河合隆之、奥田雄紀浩、上村良、田中英治、田浦康二郎
寺嶋宏明

日本消化器外科学会雑誌巻：56 号：1390 2023 年

◆Takayama Y, Yumen Y, Kitajima T, Honda N, Sakane N, Fukui M, Nagai N.

Association of body size distortion with low body mass index in female patients with nontuberculous mycobacterial lung disease.

PLoS One. 2023;18(8):e0290277.